

## 【平成 27 年新年度のご挨拶】

～大阪府がん診療拠点病院指定更新（4年）、胸部外科の拡充など～

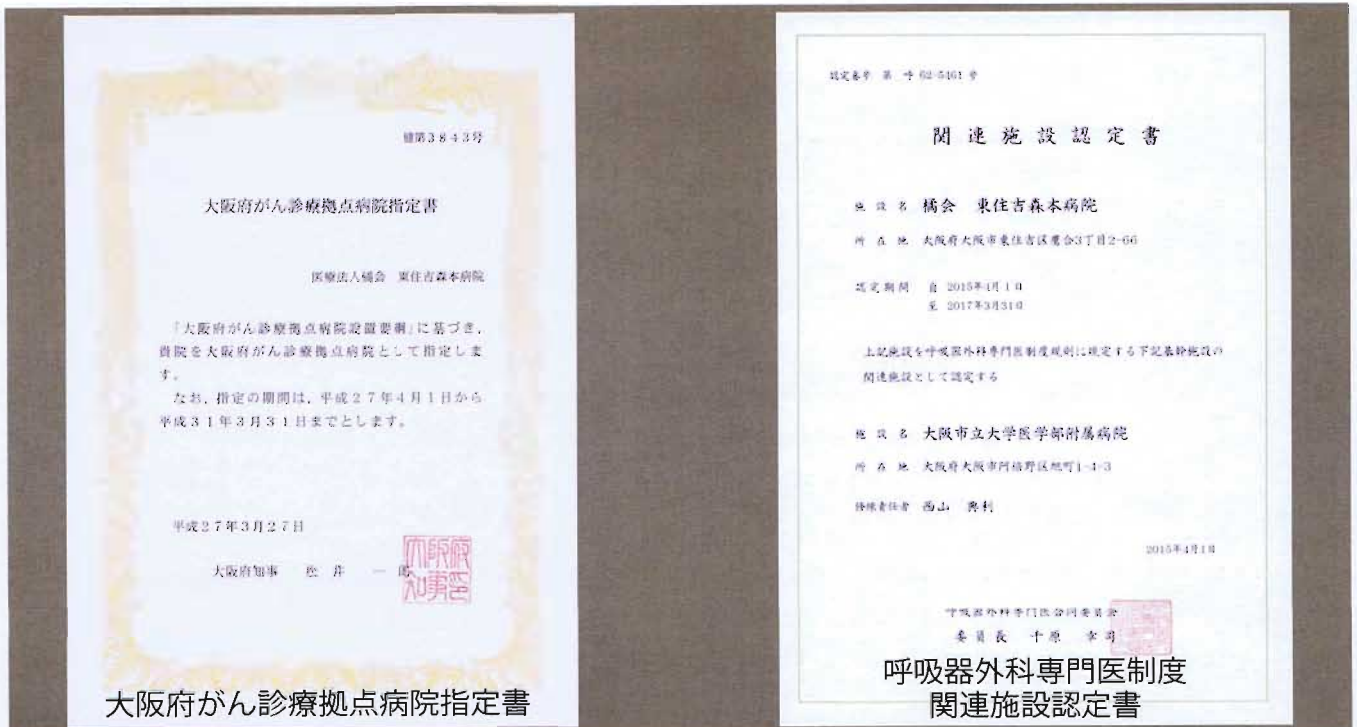
一昨年（平成26年）の10月に院長を拝命し、早いもので2回目の新年度を迎えました。昨年度は、副院長に仲川先生、地域医療連携センター長に辻口先生にご就任いただき、救急総合診療センターに廣橋名誉教授を顧問としてお迎えするなど、力強い布陣でのスタートとなりましたが、多くの皆様のお力の賜物で、地域の基幹病院としての着実な前進がみられた1年であったように感じております。

さて、当院は平成23年4月に「大阪府がん診療拠点病院」に指定され、がん対策における地域の拠点としての役割を担って参りました。今年度はこの指定要件が大幅に厳格化され、府下一斉に再審査が行われましたが、皆様の御支援の賜物で当院は本年4月から4年間の更新が認められました。府下42の指定施設のうち4年更新が認められたのは13施設（約1/3）のみであったことを考えますと、その責任の重さを痛感しているところでございます。そのようなこともあり、本年度は下記に紹介致します地域医療連携センター機能を拡充し、がん診療連携の拠点としてのみならず、地域医療支援病院としても、この地域における診療連携の核となれるようにさらなる努力いたしたいと存じます。

また、本年4月付けで、呼吸器外科専門医制度規則により、大阪市大附属病院（呼吸器外科）の関連施設として認定されました。それに合わせ、大阪市大呼吸器外科医局より常勤医師（花田庄司 Dr.）と2名の非常勤医師を派遣いただくこととなり、これまでの顧問医（岩田隆 Dr.）とともに、診療体制が充実いたします。大阪市大呼吸器外科との連携のもと、肺癌や気胸、胸部外傷など胸部外科疾患に幅広く対応できるようになりますので、是非、患者様のご紹介をお願い申し上げます。

本年度も新たな気持ちで、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指して取り組んで参りますので、何卒よろしくご支援下さいますようお願い申し上げます。

平成 27 年 4 月 院長 田中 宏



大阪府がん診療拠点病院指定書

呼吸器外科専門医制度  
関連施設認定書

## 呼吸器外科拡充のご案内

呼吸器外科患者さんの増加に伴い、27年4月より、以下のような体制と致します。

大阪市立大学呼吸器外科教室との連携をさらに密接にし、地域の皆様のご要望にお答えできるよう頑張っておりますので、何卒よろしくお願い致します。

### 【呼吸器外科 常勤医 ご紹介】

平成27年4月に外科に着任いたしました花田と申します。大阪市立大学第2外科に入局後、大阪市立大学医学部付属病院、明和病院、淀川キリスト教病院等にて呼吸器外科、一般外科に従事してまいりました。主に肺、縦隔の分野を担当させていただいております。肺がん、縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、転移性肺腫瘍などの悪性および良性腫瘍の他、自然気胸、急性膿胸、その他の肺の良性疾患、炎症性疾患に対する診断と外科治療を、呼吸器内科、一般外科、その他の各診療科と連携しながら専門的治療を行うべく努めてまいります。地域の皆様に微力ながら貢献出来ますよう精進していく所存です。よろしくお願い致します。



呼吸器外科医師：花田 庄司

#### 【対象疾患】

- ・肺癌、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、胸部外傷など。

#### 【呼吸器外科外来】

- ・水曜午前 担当 花田庄司
- ・土曜午前 担当 岩田 隆

#### 【呼吸器外科手術】

- ・火曜：(担当) 大阪市大呼吸器外科指導医 / 花田
- ・土曜午後：(担当) 岩田 / 花田

## 大阪がん予防対策基金研究助成金の交付

このたび当院は、大阪がん予防対策基金研究助成を申請しましたところ、交付されることが決定しました。研究課題は、「院内がん登録を基礎とした当地区におけるがんの特徴分析と効果的な予防啓発活動に関する研究」という内容です。

大阪府は全国と比較してがんの発生率や死亡率が高いことが知られています。その中でも、当院が位置する南大阪地区は、肺癌や大腸癌、肝臓癌などの死亡率が高く、その原因としては、禁煙などの予防対策やがん検診による早期発見が遅れていることが考えられます。当院では、大阪府がん診療拠点病院として、当初より院内がん登録の専従職員を配置し、正確で漏れのない登録に努めて参りました。本研究では、このがん登録データとともに、行政機関等の各種ホームページから得られるデータを合わせて分析することで、当院が位置する東住吉区周辺地域のがん発生やその経過・予後などの特徴を明らかにし、これらを改善させるためにはどのようなアプローチが望ましいのかを検討するとともに、実際に地域住民に向けた様々な取り組みに反映させたいと考えています。全国一律のものではなく、当地域の特徴にあわせた対策を検討し実施してゆこうとする点で、特異性や新開拓性があるものと考えています。

今年度も本研究の活動を通し、医療の質の向上、地域のがん予防対策に少しでも貢献していきたいと思っております。

# 地域医療連携センターが本格稼働いたします

平成 26 年に創設いたしました地域医療連携センターは、27 年 4 月より、大阪市大病院の前看護副部長兼患者支援センター副センター長の井内郁代氏を副センター長（看護部長補佐兼任）としてとしてお迎えし、「地域医療連絡室」「医療相談室」「がん相談支援センター」「広報室」「ベッドコントロール室」を統合した組織として改編致しました。入院患者様の前方後方支援を中心とした地域連携、様々な相談支援機能を統括した部門として活動致しますので、是非、ご利用をお願い致します。

地域医療連携センター長 辻口 幸之助

## 【副センター長ご挨拶】

4 月より東住吉森本病院 地域医療連携センターに着任しました。2025 年問題に向け、計画的な医療保険制度改革により地域における医療機関の機能分化が進んでおります。そのような背景で、当院においては地域医療支援病院としての役割を明確化し、その機能を最大限発揮できるよう、“これまでに構築してきた地域連携のシステム”を“これからの変化に対応できるシステム”へと進化させることが急務と考えています。

地域医療支援病院として地域の各医療機関の役割を尊重し、医療・介護の切れ目のない連携、顔の見える連携ができるように努めてまいりたいと思っています。また、それとともに医療相談室・がん相談支援センターも充実させたいと考えています。そしてもし地域の皆様が病気になっても入院から在宅まで安心して医療を受けられる地域となるために当地域医療連携センターがその一端を担えることを目標に努めていきたいと思ひます。そのためにも皆様方からのご指導・ご協力をお願い申し上げます。

地域医療連携センター・副センター長 井内 郁代

## 【地域医療連絡室】

地域医療連絡室では、急性期治療を中心とした患者様のかかりつけ医療機関と病診・病病連携業務を行っております。

### ■地域医療連絡室■

平日 9:00 ~ 20:00 土曜日 9:00 ~ 17:00  
電話：0120-65-0343 FAX：0120-10-5260  
メールアドレス：m\_chiiki@tachibana-med.or.jp

<紹介・ご予約のながれについて>

診療申込書 FAX 0120-10-5260

Sample 科 受付時間

患者氏名 Sample XX 様  
次回診察日 平成27年05月08日(金) 午前9時20分  
予約科目 X 診察 031番

予約票

## 貴院

## 当院・地域医療連絡室

紹介患者様の診察・検査  
依頼を当院・地域医療連  
絡室へご連絡下さい。

ご依頼診療科の予約を  
お取りします。

～直近 3 ヶ月受診歴ない  
患者様に関して～

貴院へ予約票等の FAX を  
お送りいたします。

診療申込書（左票）もお送  
りいたしますので必要事項ご  
記入いただき、再び当院へ  
Fax にてご返送下さい。

Fax の診療申込書情報  
に基づき患者様のカル  
テを作成いたします。

予約票（左票）は患者  
様へお渡しください。

ご予約完了

## 医師人事異動のお知らせ

4月より下記のとおり医師の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

内科 退職 島田 直、葛本 琢哉 入職 上田 美和、奥田 博朗、森井 麻記子	形成外科 退職 安形 省吾 入職 澤村 尚	放射線科 退職 南川 聡介 入職 古川 あずさ
整形外科 退職 川端 確、鈴鹿 智章、信貴 政人、山部 孝弘 入職 池田 幹則、鳥飼 大剛、木下 拓也、増田 翔	外科 退職 三城 弥範 入職 花田 庄司	

## 平成26年度 橋会フォーラムを開催いたしました

日時：2015/2/8（日） 会場：マイドームおおさか

今年も医療法人橋会のフォーラムを実施いたしました。テーマは『共に育とう 共に進もう 橋会』で来賓含め総勢366人の参加がありました。今年のプログラムは、笑い、気付き、学びを取り入れようというコンセプトで企画を練りました。今後もこのようなイベントを通じ様々な視点から質の向上に取り組んでゆきます。



- QC発表・各施設活動報告
- 落語家・桂きん太郎さんと漫才コンビじゃんじゃん横丁・鳥田（うだ）さんによる「人生が変わる落語」
- 救急・総合診療センター 顧問 廣橋先生「すこやかに生きる」
- フレンチレストラン・クログループ代表取締役オーナーシェフ 黒岩先生特別講演「理念と社員教育とモチベーション」

## 東住吉区医師会主催「第5のがん治療法 「生きる」ための緩和ケア」

日時：2015/2/11（祝） 会場：矢田北会館第3会場

地域住民の皆さんへ緩和ケアとはどういう治療法なのかを当院の田中院長がわかりやすく講義いたしました。

緩和ケアとは、身体的な苦痛や気持ちのつらさを少しでも和らげ、自分らしく過ごせるようにしてゆく医療であることを知っていただき”がん”とのつきあい方をかんがえてみませんか？という内容でした。定員80名でしたが、それを上回る多くの方が来場され、盛況に終わりました。



## 編集後記

広報室 M

日増しに暖かさも増してまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

先日、友人からインドのスイーツ 缶詰（写真）なるものを頂き食べてみたのです。これ、いったい何だと思いませんか？実はこれ、丸いドーナツの砂糖蜜つけらしいのです。そんなわけで、甘さ100倍（笑）。日本人の感覚からするとかなり甘いのですが、熱い国の人たちにとっては丁度いいのかもしれないね、世界の多様性を再認識した日でございました。



### 東住吉森本病院 地域医療連携センター

診察・検査・入院のご依頼、その他お問い合わせ  
(地域医療機関・施設さま専用)

メールアドレス：m\_chiiki@tachibana-med.or.jp

電話：0120-65-0343 FAX：0120-10-5260

【受付時間】 平日 9:00～20:00

土曜日 9:00～17:00

地域医療連携センター長 辻口 幸之助

副センター長 井内 郁代